

「新春雑感」 増子記念病院 理事長・院長 両角國男

年末から猛威を振るっていたインフルエンザも大きく減少してきましたが、強烈な寒波や気候変動の大きさから体調不良が起きやすい季節です。皆さんは日々の食事、睡眠、適度な運動などご自身でできる健康維持への努力を継続され、充実した1年を過ごされますことを祈念します。皆さんの健康状態を良好に保つため増子記念病院、クリニック昴など衆済会の全職員は最大限の努力をさせていただきます。

2025年(令和7年)は巳年です。蛇には忌避感を持つ方も多いと思いますが、日本では古代から文化や信仰で神秘的存在として敬われてきました。また、縁起の良いもの、財運や繁栄を呼ぶシンボルとされています。さらに、成長するために脱皮することから、「古い自分を脱ぎ捨て、新しい自分へと生まれ変わる」という変化や進歩の象徴としても知られます。

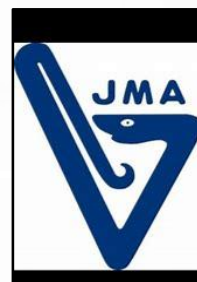
ギリシア神話にどんな病気も治し、死人も生き返らせる医学の神アスクレピオスが登場します。星座の「へびつかい座」がアスクレピオスです。WHO(世界保健機構)、アメリカ医師会のシンボルは、アスクレピオスの持つ杖に巻付く蛇のデザインです。日本医師会は蛇をデザインしたロゴを使用しています。強い生命力、回復力、再生力、不治の病に立ち向かう医学力のシンボルです。



WHO(世界保健機構)



アメリカ医師会



日本医師会

医学進歩は加速度を増し、従来治癒不能とされていた難病に新規治療法やその開発に繋がる報告がされています。希望に満ちた新規治療法により全ての病気を治癒させる日は近いのではないかと期待を持つ方も多いと思います。残念ですが多くの患者さんの病気は生活習慣病に起因しています。高血圧症、脂質異常症、糖尿病、肥満、メタボリックシンドロームなどです。生活習慣病のもう一つの側面は加齢・老化と密接につながっていることで、病気の進行速度は緩徐で遅いことが一般的です。腎臓病の多くも悪化速度は遅い疾患です。増子記念病院は腎臓病の診断治療を中核とし、優れた専門医集団と全職種から構成される慢性腎臓病支援チームで皆さんの腎臓病に立ち向かい、「治す」、「悪化しない腎臓病を診断し安心する」「腎機能悪化を阻止する」、「最適な腎代替療法の実践:透析療法や腎移植」などを最高レベルで提供する体制が整備されています。腎臓病で治療中の皆さんにお願いがあります。血圧管理など生活習慣改善に重要な食事や運動、ストレス状況などを我々と共有することが病気の進行鈍化に大きな力となります。進行速度の遅い腎機能低下の患者さんのなかには、積極的な食事療法など必要としない方が多数みえます。本当に治療や生活管理が必要な患者さんに限定して治療を行うことが重要です。不安や気になったことはお気軽にご相談ください。最適のアドバイスをさせていただきます。

ますこ・すはる新聞を手にする皆様が、健康への不安を最小化し元気に過ごされますことを祈念しています。

「チーム医療センター」の開設について

CKD(慢性腎臓病)についてご存じでしょうか。蛋白尿が出る、GFRが60mL/分/1.73m²未満の状態が3ヶ月以上続くとCKDと診断されます。

CKDの原因は高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病や慢性腎炎など様々です。そして腎臓の機能の低下によって心筋梗塞や脳卒中、末期腎不全といった重い病気を引き起こすことになります。



CKDの治療の目的は透析・腎移植に至らないように、あるいは時期を遅らせること、心臓病や脳卒中を起こさないようにすることです。そのためには、腎臓を敵から守る必要があります。

敵とは何か。高血圧、糖尿病、肥満、喫煙、感染症、寝不足など多岐にわたります。

当院は2024年9月に多職種による「チーム医療センター」を開設しました。ここでは腎臓病に特化した専門性の高い医師、看護師、管理栄養士、理学療法士、薬剤師、臨床検査技師、医療ソーシャルワーカーがONEチームとなって患者さんをサポートいたします。

慢性的に腎臓の機能が低下している段階で、腎臓を直すと言った魔法のような治療はありませんが、私たちの力が患者さんの治療の一助となればと思います。

次号以降「チーム医療センター」の具体的活動についてご紹介します！

腎臓病教室の再開について



2019年より新型コロナの感染拡大の影響で、当院全ての教室が中止となりました。その後も状況を見ながら、いつ開催できるのか検討を繰り返し、2024年、感染が落ち着きを見せたので、ようやく10月19日に人数制限をした上での開催となりました。

当日のテーマは、医師より「CKD(慢性腎臓病)について」、管理栄養士より「腎臓にも優しい生活習慣病を予防する食事」、理学療法士より「生活習慣病と運動療法」についての講義をいたしました。当日の参加者は12名で、とても分かりやすく、具体的な内容で勉強になったとの言葉をいただきました。

今後は新型コロナの感染状況次第となりますが、当院では年2回の腎臓病教室を定期的に行い、多くの皆様に参加いただけるよう準備していきます。今後ともよろしくお願いたします。

福



検査結果はここを見る

～「隠れ腎臓病」に注意！～

高齢化が進む日本では、高血圧症や糖尿病などの生活習慣病が原因の慢性腎臓病が増加しています。慢性腎臓病は末期腎不全の原因となるだけでなく、心血管疾患へとつながる可能性が高くなるため、早期に適切な対応する事が重要です。

慢性腎臓病は、「**隠れ腎臓病**」として進行することが多いため、定期的な健康診断と早期の対応が不可欠です。できるだけ早く発見して生活習慣を見直すために、みなさんが健康診断などで**血液や尿の検査を受けた時はここに注目**しましょう。



血液検査 「血清クレアチニン値」に注目！

健康診断で実施する検査項目のうち、腎臓の働きは、「**血清クレアチニン値**」で確認することができます。腎臓の働きが低下するとこの数値が徐々に上昇します。

ご自身の健康診断結果を確認し、以下の基準値から外れた場合は医療機関へ受診しましょう。

血清クレアチニン値(基準値)	男性：0.65～1.07mg/dL
	女性：0.46～0.79mg/dL



尿検査 「尿たんぱく」に注目！

検尿で「**蛋白(たんぱく)陽性**」は腎機能低下の可能性があります。尿蛋白(1+)以上 もしくは 尿蛋白(±)が2年連続みられた場合は医療機関へ受診しましょう。

自分自身の健康状態を把握し、必要に応じて専門医に相談することが、健康維持につながります。増子記念病院では、上記以外にも、腎臓病に関する詳しい検査を実施しています。ご希望の方は、主治医や外来スタッフへいつでもご相談ください。

増子記念病院
臨床検査課



「ますこ・すばる新聞 令和6年度冬号」 発行元：増子記念病院 広報委員会（令和7年2月発行）

医療法人 衆済会 増子記念病院

〒453-8566

名古屋市中村区竹橋町35番28号

TEL:(052)451-1307 / FAX:(052)451-1324

増子クリニック

〒453-0856

名古屋市中村区並木1丁目322番地

TEL:(052)412-8211 / FAX:(052)414-2962